

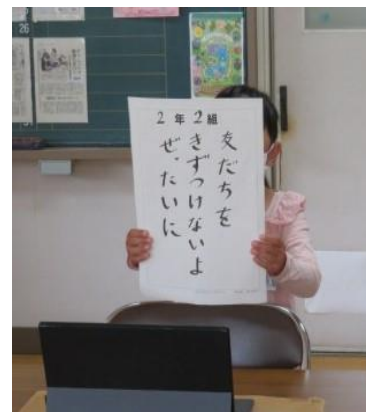
## 命の大切さについて考える日

みなさん、こんにちは。

今日は、「命の大切さについて考える日」でした。平成 25 年 5 月 8 日、廿日市市内の中学 3 年生徒が自ら命を絶つという事案が起きました。その後の調査で、その背景にはいじめがあったことが報告されました。いじめは決して許されるものではなく、命にかかわる重大な問題であること、この日を決して忘れてはならないという認識のもと、市内の全ての小・中学校では、5 月 8 日を「命の大切さを考える日」と設定し、取組を行っています。

宮園小では、この「命の大切さを考える日」に向け、各学級で、命の大切さやいじめが許されないことについて話し合いました。そして、話し合ったことを五・七・五にまとめ、今日の朝会（オンライン）で発表しました。

1 年 1 組 たいせつな みんなのいのち まもりあおう  
2 年 1 組 おもいやり あい手の気持ち かんがえて  
2 年 2 組 友だちを きずつけないよ ぜったいに  
3 年 1 組 なかよくし ふわふわ行動 たすけ合う  
4 年 1 組 命はね 一人一人の たからもの  
5 年 1 組 言う前に 考えようよ その言葉  
6 年 1 組 一人じゃない その一言で 前向きに



その発表の後、校長からは次の三つの大切なポイントからの話をしました。

- 1 自分や他人の命、一人一人の違いを大切にする
- 2 いじめは絶対に許さない
- 3 一人で悩まず、相談する

これまで何度もお伝えしているように、本校は、学校教育目標「自分を育て みんなで伸びる」のもと、目指す子ども像の一つに「自他の違いを大切にし、助け合える子【多様性の尊重】」を掲げています。いじめは、この目指す児童像と対極にあるものです。

本校では、いじめは、どの学校・どの学級・どの子にも起こりうるものという基本認識に立ち、全ての児童に対して、いじめに向かわせないための未然防止・早期発見・早期対応に取り組んでいます。何か心配なことがありましたら、ためらうことなく相談してください。

令和 4 年 5 月 9 日 校長 中谷 一志